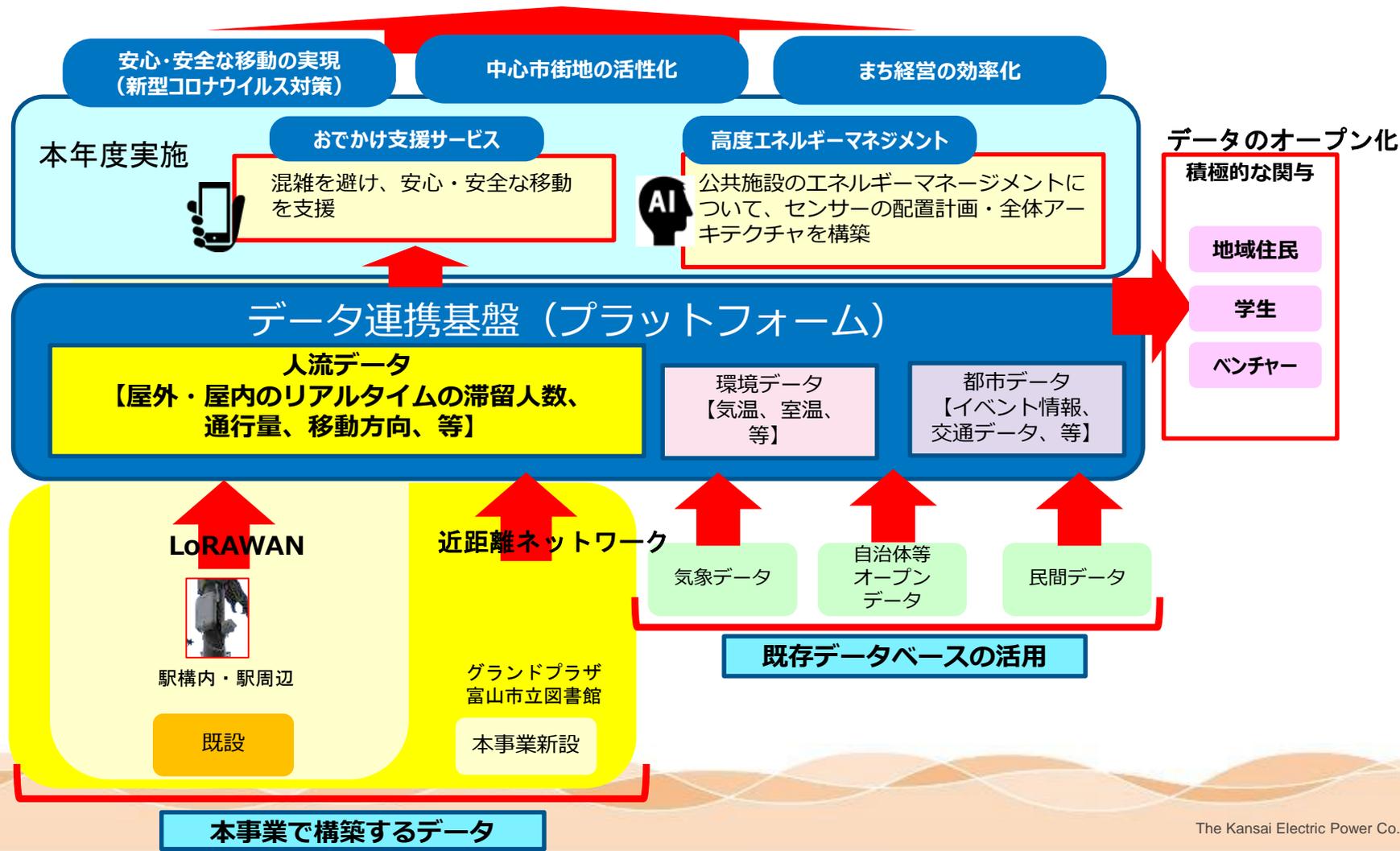


# 「とやま」つながりプロジェクトの概要

- 富山市が抱える地域課題に対し、富山市のデータ連携基盤を活用し、データ利活用型スマートシティによる課題解決を目指す。
- 具体的には、「おでかけ支援サービス」や「高度エネルギーマネジメント」に取り組む。

## 富山市民にとって安心・安全で、魅力的なまちづくりの実現



# 取組み① おでかけ支援サービス「シエマル」の実証実験

- おでかけ支援サービス「シエマル」は、新型コロナウイルス対策として、当該エリアの混雑情報および今後の予測情報を市民にリアルタイムで公開し、安心・安全な移動を支援する。
- 今回の実証実験では、市民がより利用しやすいように、LINEを活用した情報発信にも取り組む。
- 検討にあたっては、市民が利用しやすい情報発信の方法について、ハッカソンコンテストを実施（2021年1月16日～17日）し、選出された富山県内の大学生チームとともに開発を実施。

＜おでかけ支援サービス「シエマル」の画面＞

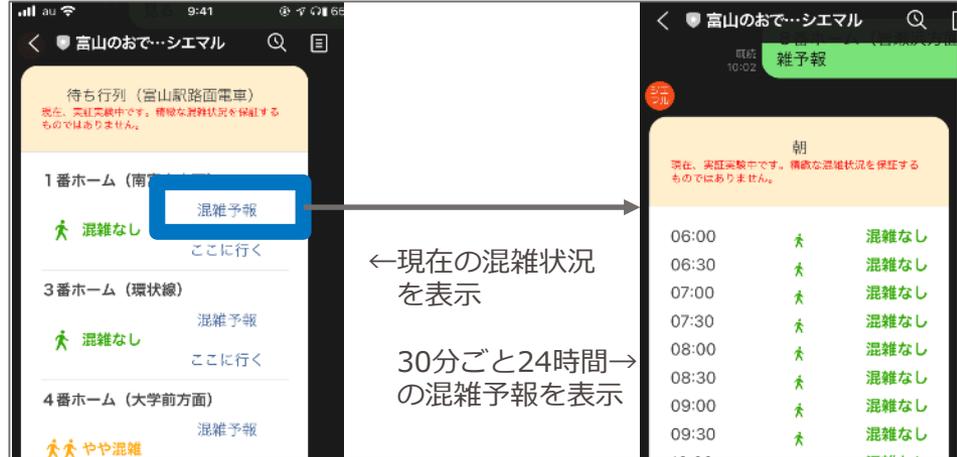
①WEBによる紹介ページ  
<https://www.shiemaru.com/>



②LINEによる友だち追加 ⇒  
はこちら



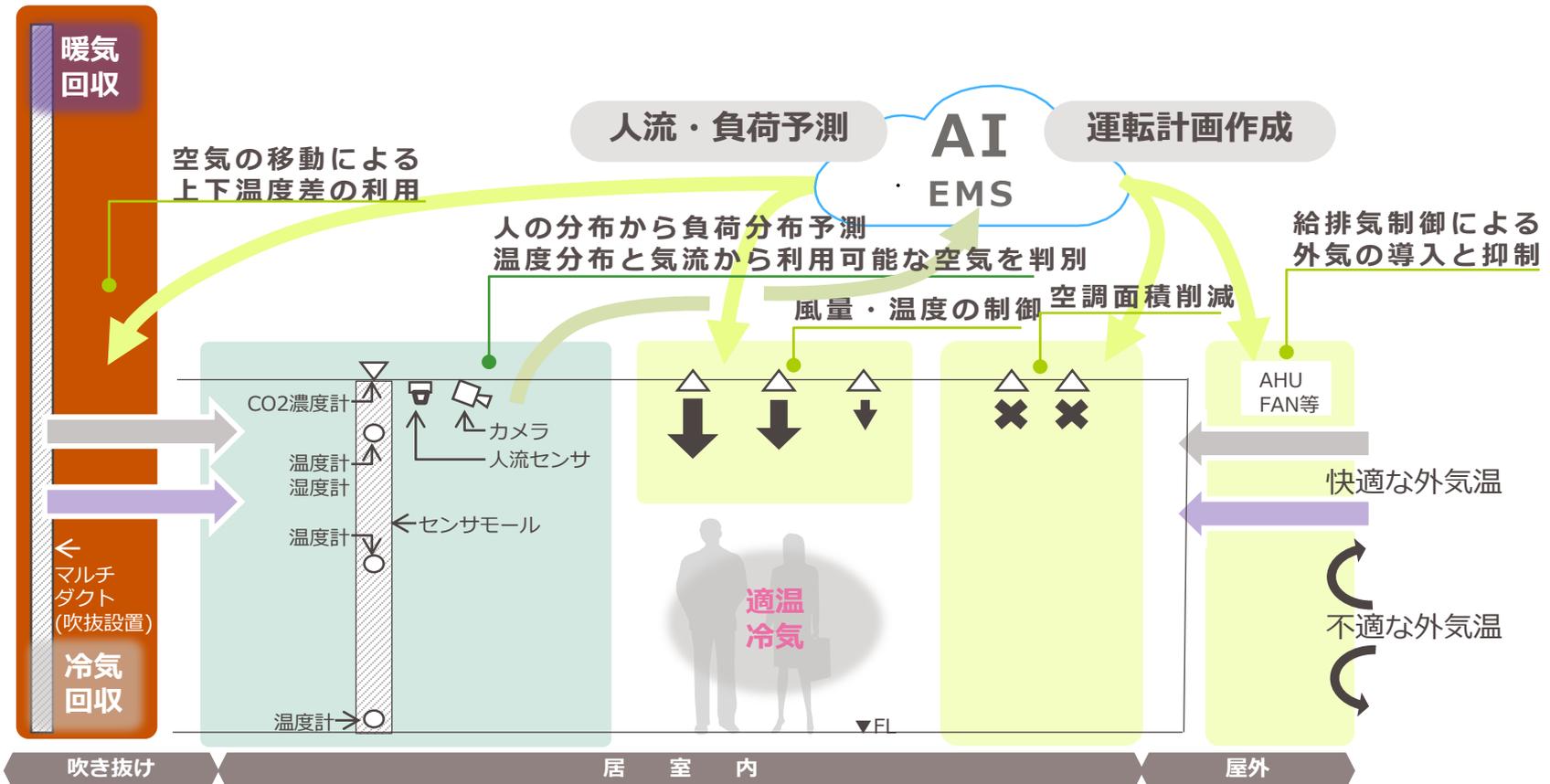
(参考) LINEでの画面



←現在の混雑状況を表示  
30分ごとと24時間→  
の混雑予報を表示

## 取組み② 高度エネルギーマネジメント

- 公共施設のエネルギーデータを一元管理し、人流や温湿度センシングによるスマート空調を導入する高度エネルギーマネジメント。
- 2020年度は富山市庁舎の建築・設備の図面調査、機械室・中央監視室等の現地調査、エネルギーの使用データを収集・分析した上で、人流・温湿度センサーの配置計画立案並びに全体アーキテクチャを構築し、空調コストを削減し、省エネ・低炭素化が可能な仕組みを導出する。



# 実施時期、場所、参加団体と主な役割

○実施時期：2020年12月4日～2021年3月5日

○実施場所：①おでかけ支援サービス「シエマル」の実証実験

於：富山市中心市街地

(2020年度は富山駅、富山駅前バスターミナル(1～7番のりば)、  
グランドプラザ、富山市立図書館本館「5階閲覧室」)

※市民への公開は2021年2月12日から開始

②高度エネルギーマネジメントのセンサーの配置計画および全体アーキテクチャの構築

於：富山市庁舎(富山市新桜町7番38号)

○参加団体

- ・ 関西電力株式会社 (代表企業)
- ・ 株式会社日建設計総合研究所
- ・ 国立大学法人京都大学
- ・ 国立大学法人富山大学
- ・ 株式会社センサーズ・アンド・ワークス
- ・ 日本電気株式会社
- ・ 富山市
- ・ 株式会社日本総合研究所
- ・ 国立大学法人神戸大学
- ・ 株式会社オプテージ
- ・ TRAPOL合同会社
- ・ 北陸電力株式会社